

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果			
		1	2	3	4
学位論文審査基準	1	◎		○	○
	2				
	3	◎	◎	◎	
	4		○	○	
	5	◎			○
	6			○	

政治学研究科博士後期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	最高段階	2 番目の段階	最低段階
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえての的確性	先行研究の網羅的かつ批判的検討を踏まえ、学術的意義の高い研究課題が明確かつ的確に設定されている。	先行研究の網羅的かつ批判的検討は十分であるものの、研究課題が明確かつ的確に設定されて、しかも学術的意義が高いとはいえない。	先行研究の網羅的かつ批判的検討が不十分である。
課題を追求する上で方法論の適切性	研究課題を追求するための方法論に関する十分な検討を行い、その中からできる限り適切な方法が採用されている。	研究課題を追求するための方法論に関して十分に検討したものの、その中から最適な方法が採用されていない。	研究課題を追求するための方法論に関する検討が不十分である。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究課題の解明のために必要な資料やデータなどをできる限り網羅的に収集し、その分析や処理が学術的に厳密な手続きに従って批判的かつ実証的になされている。	研究課題の解明のために必要な資料やデータなどをできる限り網羅的に収集したものの、その分析や処理が学術的に厳密な手続きに従って批判的かつ実証的になされていない。	研究課題の解明のために必要な資料やデータなどをできる限り網羅的に収集していない。
結論の妥当性	研究の結論が、研究課題との対応が明確で、論理や実証の点で妥当であり、十分な説得力をもっている。	研究の結論が、論理や実証の点で妥当であり、十分な説得力をもっているものの、研究課題との対応が明確でない。	研究の結論が、論理や実証の点で妥当でない、または十分な説得力がない。
研究の独創性と研究分野への貢献	研究に高い独創性が認められ、当該研究分野に大きな学術的貢献をなす可能性を有している。	研究の独創性は高いとは認められないものの、当該研究分野に大きな学術的貢献をなす可能性を有している。	研究に高い独創性が認められず、当該研究分野に大きな学術的貢献をなす可能性もない。
その他	研究倫理が遵守されている。また学術論文としての体裁が整ったものである。	学術論文としての体裁は整っていないものの、研究倫理が遵守されている。	研究倫理が遵守されていない。